活用現場レポート

中野農園

岐阜県高山市
トマト等



岐阜県の飛騨高山で標高６００m～８５０mという環境を利用し、トマトを栽培されている中野農園様。トマトの栽培面積は２町４反と飛騨高山でトップレベルです。生長に合わせた細やかな栽培管理と飛騨高山の環境を生かして生産されたトマトは、多くの市場や大手量販店から注文があるそうです。今回は、安定した品質と収穫量を保ち続ける中野農園様のこだわりの栽培方法とＦＦＣ活用方法についてご紹介いたします。



代表
中野　俊彦 様

生産者のお話

大学卒業後、会社員として働いていましたが、農業を継ぐため１２年前に実家に戻りました。私は、高付加価値のトマトを作ろうとは考えず、平均以上の品質と収量をあげることを目標とし、そのためにできる限りの工夫と努力を重ねています。その中でＦＦＣテクノロジーは、信頼できる技術として使用しています。ＦＦＣテクノロジーを用いることで、品質と収量の最大値が５%、１０%と上昇し、より良いものが作れると考えています。

また、私にはもう１つ目標があります。一般的に言われている農業の 3K「きつい・汚い・危険」を「かっこいい・快適・金が儲かる」に変えていき、若者が期待を持てるような農家になることです。私の子どもたちにもそう思ってもらえるように頑張っていきたいです。

トマトへのＦＦＣ活用方法

育苗～定植 3月～6月 ➤ 成長期 ➤ 収穫





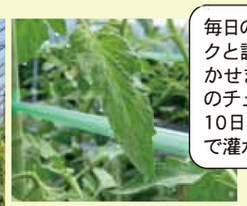
セルトレー苗をポットへ鉢上げする際、**ポット土16tに対してFFCエースを１６袋**入れます。
苗木が生長し接ぎ木を行ったあと、外部環境に慣らすため、温度・照度・湿度を調節しながら順化させます。この時の苗はＦＦＣウォーターに囲まれた良い環境で生長します。



接ぎ木

接ぎ木前後で**約１週間に１回、パイロゲン1500倍希釈水で葉面散布**を行います。





毎日の色や葉露の付き方のチェックと誘引・芽かきなどの作業は欠かせません。また、水やりは自動のチューブ灌水ですが、定植後の10日間は状態を見て 1 株ずつ手で灌水を行います。

植物の生長に合わせて肥料を与えます。パイロゲン1000倍希釈水を１５日に１回は葉面散布します。これらの作業を行うタイミングとバランスが特に重要なため、時には測定機器を用いて測定し、自分の感覚と数値のずれがないかを確認しています。



収穫もタイミングが重要です。

消費者の手元に届く際に一番おいしい状態になるように、流通の所要時間なども考慮して収穫します。





甘みと酸味のバランスが絶妙な中野農園様のトマトは、全国各地で大好評です！

土づくりが重要!!

定植後も苗の生長を助けるため、土づくりが重要だと考えています。土への投資は次世代への投資と考え、土づくりにＦＦＣエースをしっかり施用します。

春：堆肥等と共にＦＦＣエース４～８袋／反
秋：降雪前にＦＦＣエース４袋／反



中野農園様のＦＦＣ活用歴

ＦＦＣパイロゲン…… 13年
ＦＦＣエース…… 13年
業務用ＦＦＣ元始活水器　2年

ＦＦＣエースとパイロゲンを10年以上活用されています。さらに昨年より、元始活水器で農場の水をＦＦＣ化されました。



業務用ＦＦＣ元始活水器VS型

ＦＦＣ活用後の変化

霜に強くなった

元始活水器を付けてから霜に対して強くなり、トマトの出荷時期が延びました。他の農家ではトマトがない時期に出荷できるため、トマトの単価が上がり収益率が高くなりました。

収量が５～10%増加

毎年熟練を重ねる栽培技術に合わせてＦＦＣ資材を活用することで、自慢のトマトがたくさん収穫できるようになりました。



病気などの減少

ＦＦＣエースを使用してから、樹がどっしりとしていて葉の色が濃く硬くなり、病気にかかりにくくなりました。





ＦＦＣ使用区の方が樹勢がよく、葉の色も濃いのが分かります。

接ぎ木の活着率の上昇

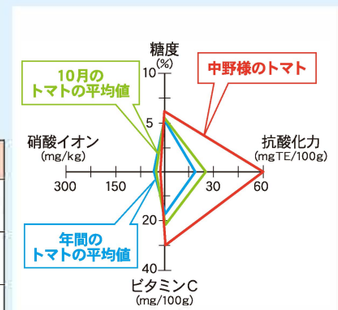
接ぎ木作業での活着率は、慣れていないパートの方だと85%程度、慣れた方でも90%程度と熟練度によって差があり、安定しませんでした。しかし、栽培方法やFFC活用方法を工夫し、今では熟練度に関係なく、**98～99%の活着率**となりました。

抗酸化力が平均値の２倍以上に増加

一般的に販売されているトマトの平均値と比べたところ、抗酸化力が2倍以上ありました。また、糖度やビタミンCも高い値となりました。

2012年10月 デザイナーフーズ㈱調べ

サンプル名	糖度 (%)	抗酸化力 (mgTE/100g)	ビタミンC (mg/100g)	硝酸イオン (mg/kg)
中野様のトマト	6.2	60.1	30.5	14.5以下
10月のトマトの平均値	5.5	25.5	21.8	20.3
年間のトマトの平均値	5.3	19.8	17.8	29.3



※パイロゲンは清涼飲料水ですが、ご本人様の経験により生産工程で活用されています。　※掲載事項に関するご質問は㈱エフエフシー・ジャパンまでお願いいたします。

発行元：**株式会社 エフエフシー・ジャパン** 〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3 TEL:059-230-3595 http://www.ffc-japan.co.jp